

原子力の自主的・継続的な安全性向上に向けた更なる取り組み(ロードマップ)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度～
1. ガバナンスの強化	▽中部電力グループ原子力安全基本方針(仮称)制定				
	原子力安全向上会議 ▽設置	・リスクの分析・評価、対応策の審議 (他部門管掌役員も構成員として会議に参加)			
	内部監査機能	・リスクマネジメントの状況を内部監査部門がモニタリングし、結果を原子力安全向上会議に報告			
	アドバイザリーボード ▽設置	・社外の有識者の知見を安全性向上に向けた取り組みに活用			
	全社リスクマネジメント	・全社リスクマネジメント部門と実務主管部署とのリスクコミュニケーションの強化			
2. リスクマネジメントの強化	リスク低減の取り組み確認・評価	・原子力部長を委員長とする審議会においてリスク低減の取り組み状況を俯瞰的に確認・評価			
	▽原子力安全グループの設置				
	プラント監視、ツール整備等		発電所運営	・発電所運営にPRAを活用	
	運用検討、ツール整備等		設備設計	・設備設計にPRAを活用	
	PRA技術者	・PRA技術者の継続的な育成・配置			
	原子力リスク研究センター(電力中央研究所に設置予定)	・「原子力リスク研究センター」と連携しリスク低減策、各種情報を共有			
	評価手法・体制整備等	▽体制の確立	安全性向上評価	・継続的な安全性向上の枠組みを構築し、安全性向上評価を実施 ・クリフエッジの把握	
				▽クリフエッジの特定	
				クリフエッジへの備え	・体制の構築などの対応力強化
	安全文化醸成活動	・リスクを発見する意識を持ち、問いかけ、対応する姿勢の定着			
3. リスクコミュニケーションの強化	▽コミュニケーション推進グループ(仮称)の設置				
	社内リスクコミュニケーション	・原子力安全向上会議における議論を通じたリスクコミュニケーションの充実 ・グループ会社全体の理解促進			
	社外リスクコミュニケーション	・リスクの観点を踏まえたコミュニケーションの充実 ・地元をはじめ社会の皆さまとの接点の場の拡充			
	自治体とのコミュニケーション	・重大事故発生時に対応する地域自治体と連携した訓練 ・当社協力内容の提案などによる地域防災計画策定への積極的貢献			